

八尾市地域安全推進会議（第2回）議事録

平成22年 3月17日
午後2時00分から
市役所本館5階庁議室

【出席者】田中誠太	会長	森明	副会長
鈴木武司	副会長	福井勇	委員
川田宗春	委員	平野光次	委員
中路明雄	委員	石井繁	委員
庖刀照子	委員	中土治美	委員
中西勝晴	委員	山崎きみゑ	委員
村田守生	委員	神立悦二	委員
石井清一	委員	塚谷俊介	委員
小角道男	委員	西川繁	委員
安井義勝	委員		

【警察署】生活安全課長	石橋幸助	生活安全課係長	木原正章
-------------	------	---------	------

【庁内】市民ふれあい担当部長	武田善孝	総務部参事	郷原寿弘
----------------	------	-------	------

【事務局】自治推進課長	桐山友良	自治推進課長補佐	杉島敏則
自治推進課係長	久保信哉	自治推進課	城戸令子

開会

委員紹介

やお安全安心憲章唱和

田中会長挨拶

市内の街頭犯罪件数はおおむね減少傾向にあるものの、自転車盗が徐々に増加し、街頭犯罪の半数以上を占めるようになってきています。市といたしましても、街頭犯罪抑止のため、町会からの要望箇所にてLED防犯灯、また、市内小・中学校に太陽光発電を含むLED防犯灯を設置いたしました。さらに、全公用車にナンバープレート盗難防止ネジの取り付けを行うなど、市をあげて安全・安心のまちづくりへの取り組みを強化してまいりたい。

〔案件〕

1.平成21年度下半期 地域安全に関する取り組み等について（資料1）

資料1に基づき、平成21年度下半期の地域安全に関する主な取り組みについて報告した。

案件1（1）について、委員からの意見はありませんでした。

2.八尾市の犯罪発生状況について（資料2）

資料2に基づき、八尾市内の平成21年（1～12月）および平成22年（1～2月）の街

頭犯罪発生件数などについて、八尾警察署より報告が行われた。

平成21年中は、車上ねらい、部品ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗が大幅に減少したものの、自転車盗が増加傾向にあることなどを指摘。

- (委員) 自転車盗について、被害者のうち、施錠・無施錠の割合はどのようなものか。
- (八尾警察署) 無施錠は全体の約47%で、高校生までの被害者が多い。今後、自転車盗被害防止の呼びかけをさらに強化していきたい。
- (市長) 市内駐輪場に33台の防犯カメラを設置したことをしっかりとアピールしたい。また、犯罪多発地区に重点的な対策を講じていくべき。

3.平成22年度地域安全に関する取り組み計画(案)について(資料3)

資料3に基づき、平成22年度の地域安全に関する取り組み計画(暗がり診断、八尾市防犯計画(仮称)、一戸一灯運動の推進など)を報告した。

また、今年に入り、歩行者が被害に遭うケースが多発していることを指摘し、被害防止のため、より一層啓発することとした。

- (委員) 暗がり診断は、これまで何地区で行われたのか。
- (事務局) 久宝寺地区、大正地区、竹濑地区、八尾地区の計4地区。
- (市長) 暗がり診断により、防犯灯設置数の増加や防犯灯の照度アップ、また防犯パトロールの強化などの効果を期待できる。
平成22年度には、大阪府から安全・安心のまちづくりのための補助金が交付される予定であり、より有効に、地域安全につながる取り組みをしたい。

森副会長挨拶

平成21年中、地域での活動のお蔭もあり、大阪府下で街頭犯罪の減少が最多であったとして、八尾警察署が表彰されました。また、竹濑地区に続き、高安西地区においても地域安全センターが開設され、今後より一層、地域の防犯力を高める拠点となるよう警察、行政、地域が連携して安全なまちづくりを推進してまいりたい。

閉 会